

一宮市立開明小学校 沿革史

時代	沿革
明治6年9月	江戸時代から続いていた寺小屋「義校」が、「洗心学校」となる。
明治9年5月	城堀に校舎が新築され、「小学野府学校」が設立される。
明治13年春	「野府学校」と「小原学校」に再編される。
明治20年4月	「中島郡尋常小学奥学校」に、「野府学校」は「野府分校」、「小原学校」は「本校」として併合される。
明治21年4月	「野府分校」から独立する形で、「中島郡第17学区 尋常小学開明学校」が設立される。
明治25年5月	「中島郡開明村立 開明尋常小学校」と改名される。
明治26年4月	高等科が併置されたため、「中島郡開明村立 開明尋常高等小学校」と改名される。
明治34年4月	高等科が廃止されたため、「中島郡開明村立 開明尋常小学校」と改名される。
明治40年1月	開明村と今伊勢村の合併に伴い、「中島郡今伊勢村立 中島郡開明尋常小学校」と改名される。
明治44年4月	高等科が併置されたため、「中島郡開明村立 開明尋常高等小学校」と改名される。
昭和16年4月	国民学校令施行に伴い、「中島郡今伊勢町西国民学校」と改名される。
昭和22年4月	「中島郡今伊勢町西国民学校」の初等科が「中島郡今伊勢町立 今伊勢西小学校」として再編される。
昭和30年4月	開明村が尾西市に編入されたため、「尾西市立 開明小学校」が設立される。
平成17年4月	尾西市が一宮市に合併されたため、「一宮市立 開明小学校」と改名される。
平成21年4月	ICT支援事業により、教育機器が整備される。
平成30年9月	各学級の教室に、エアコンが設置される。
令和元年	運動場東フェンス改修工事、北校舎屋上防水工事、体育館証明改修工事が行われる。
令和2年2月末	新型コロナウイルス感染防止のため、休校期間が始まる。
令和2年5月末	休校期間が終わり、授業が再開される。
令和2年8月末	相撲場が解体・撤去される。
令和3年9月	GIGAスクール施策により、Chromebookが導入される。
令和4年8月	職員室・保健室・パソコン室・図書館のエアコン改修工事が完了する。電子黒板が導入される。
令和5年10月	体育館のスロープ工事が完了する。
令和6年6月	水泳授業業務委託開始